

「将来の伸びしろで期待できるのが田植え機。」

3つの部品を組み付けて1セット 求められる公差は100分の1以内

1年で売り上げの1割にまで成長

高橋社長に聞く

ユキワ精工
ユーザー訪問

主要な仕事内容は、消防、消火に関係する機器や船舶関連の部品加工
エコー精機 (さいたま市南区)

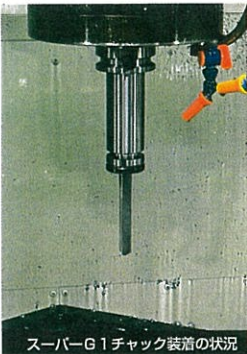


ユキワ精工のツーリングは、田植え機の仕上げ加工で活躍していると語る高橋社長

エコー精機の創業は1986年。消防車、消火栓に関連する防災機器や船舶関係の部品加工でスタートした。産声を挙げたのが、戸田市だが、20年以上前に現在のさいたま市南区に移転している。

今回、取材に応じてくれた高橋潤一社長は2000年入社で、3年前の2020年に2代目となった。オークマで

工具寿命も他社比2割ほど伸び



スーパーG1チャック装着の状況



オークマ製工作機械の稼働が目立つ



自社製品の伸びも期待したい

「挽き目のきれいさ、組付け時の精度は従来の比ではない、との顧客評価を得る」

「仕上げ専用」スーパーG1チャック、グリーンG1チャック、グリーンG1チャックを活用

「挽き目のきれいさ、組付け時の精度は従来の比ではない、との顧客評価を得る」

野からの売り上げが今でも大半を占めるものの、将来の伸びしろと云う点で期待できるのが、田植え機の分野。すでに売り上げの1割を占めるまでに成長している」と言う。

3つの部品を組み付けて1セット。1ロットのおよそ200セットの受注となる。

「それぞれの部品を試作して、組付けて精度確保を行う。材料は支給で2か月かけた。求められる公差は100分の1以内。高精度が求められるが、そもそも、田植え機を構成する部品なので油漏れは「法度」。工具の選定やツーリングの検討も併せて行い、試行錯誤しつつ、結果を出した。

この1年間で1000セットに対応してきた

田植え機用の仕上げ専用スーパーG1チャック4本、グリーンG1チャック3本を活用しているほか、シビア加工が求められる場合は積層も活用している。

エコー精機の売り上げ構成は、消防関連4割、船舶関係で3割、田植え機で1割のほか、自社製の圧着機が2割を占める。自社製品の今後の行方も気になるところだ。

「活用している工作機械は2007年に導入した40番主軸のオークマ製DB55VA。」

「昨年のトライアルの期間で、ユキワ精工と他社製ツーリングを試した。他の条件はすべて同じ。エコー精工のグリーンG1チャックだと3つの部品単体での精度出しは、もちろん、組付け精度も優に合格。他社製だと、部品単体の精度はざりざり及第点で、組付けるとどこか精度が確保できないレベル。お客さんからも、挽き目のきれいさ、組付け時の精度などは、従来とまるで違う、との評価を頂いている。」

「極的に活用しているぞうだ。」

「他社製との比較では、挽き目や精度のほか、工具寿命が2割程度伸びている」と指摘できる」とし

「今期の設備計画でも、補助金を活用してマシンングセンターを導入する計画だが、ユキワ精工のツーリングの比重がさらに増している。サイスバリエーションをさらに豊富にして頂ければ、活用頻度がもっと上がってくるはずだ」との要望も挙げた。

「今期もマシンングセンター導入を計画。ユキワ精工製ツーリング採用拡大へ」

GOOD DESIGN AWARD 2012
特別賞 グッドデザイン-ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く

ツーリングシステム グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社



本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

http://www.yukiwa.co.jp/
グリーンG1チャック

